Q＆A 2009.10.23 現在

一般社団法人技術士リングネット　Q＆A　集

「技術士リングネット　キャッチフレーズ」

1）経験豊富で、各分野の専門的な知識と技量を有する技術士のネットワークが「技術士リングネット」です。
2）技術士が自立して、活動分野を広げて行動することで、公益に寄与したいと考えています。
3）「技術士リングネット」は、個人の技術士ではなく、ネットワークを組織し、総合的で高いレベルと品質の技術を提供することができます。
4）「技術士リングネット」は、あなたの「まちづくり」と「地域振興」をお手伝いします。
5）「技術士リングネット」には、農業や林業など北海道の一次産業をさらに発展させる人材が多くいます。食料や環境問題をみなさまの経験と私たちの科学・技術を融合させて北海道を元気にしましょう。
6）「技術士リングネット」には、大学や経済界の有識者によるサポート体制があります。
7）「技術士リングネット」が運営するマッチングサイト「エンジニアリングパーク」は、あなたの抱える技術的問題をあらゆる面で技術士が解決のお手伝いをします。
8）「エンジニアリングパーク」は、法人や個人のみなさまと技術士の「情報交流の窓口」です。
9）豊富な経験の技術士による「講習会・研修会」、「技術セミナー」、「資格取得セミナー」、「科学・技術教室」などを開催します。
10）「技術士リングネット」は、技術品質とモラルを大切にして活動します。

「　なぜ社団法人なのですか　」

- 一般社団法人は、収益（営利）事業と公益事業を合わせ行うことができます。収益事業は株式会社と同様に活動し、税金も同様に納めます。一方、技術士は技術士法という法律や日本技術士会の行動原則により、プロフェッショナルな立場でその資質や倫理の健全性が求められ、当然公益に資する活動が大事です。そのため必然的に活動の中に公益貢献が存在し、私たちは積極的な公益事業への取り組みを行います。公益事業は、税制上の優遇がありますが、一般社団法人はその利益を分配することができません（企業の株式配当にあたる）。
- 私たちは、技術士として活動分野を広げ、技術の啓蒙に努めながら、その中で個々人が幾ばくかの収入を得ますが、技術立国日本の一翼を担う所存です。そのような事業の考え方から一般社団法人として設立しました。

「　技術士の現状は　」

- 「技術士」は、高度な技術分野における最高の国家資格あり、全国では約4万人強が活躍しております。北海道では 2 千人弱で、多くは官庁や企業にあって専門家として技術の中枢を担っております。また、弁護士や建築士と同じように技術士事務所を構えて個人事業をしている方もおります。
  しかし、最高の国家資格であるにも拘わらず、技術士が充分に活用されていないのが現状であります。
  一方、個人技術士や企業所属技術士など個々人の活動では、社会が求める多様な課題に対応するには限界があります。

「 リングネットでどのような事業を取り組みますか 」

- リングネットの事業は、主催する教育・出版事業、受託するコンサルテング・プロジェクト事業、法人や個人の方々と専門技術者とのマッチング事業（2010 年4月予定）等を考えています。
  主催する教育等の事業は、資格取得・技術者研修支援、教育コンサルティング・技術啓蒙活動、各種セミナー・出版などを行います。
- 受託事業は、総合プロジェクトに関する企画・調査・提案・実施、技術相談、専門技術に関する審査・検査、まちおこし・地域活性化の支援などを行います。
- マッチング事業は、ホームページ上にマッチングサイト「エンジニアリングパーク」を設けて、専門技術を求める法人や個人の方々と各分野の技術士とがインターネットを通して、「仕事と情報」を交換できるシステムを運営します。マッチング事業は、2010 年4月開始の予定です。

「北海道の活性化にどのように役立ちますか」

- 登録している技術士や法人事務所は、様々な専門分野において豊富な実務経験を有しています。各専門技術とそのネットワーク化を通して、レベルの高いコンサルテングを実現させます。
- 多くの技術士や法人事務所は、道内の地域に密着した事業を展開しており、地域情報に精通しており、地域密着型のアドバイスが可能です。
- 北海道の地域資源を生かす総合的な提案が求められています。それらは、食料や環境問題など、北海道の優位性をさらに発展させる取り組みです。技術士には農業や林業、水産や環境・資源などの専門技術者がいます。私たちは、まずこの北海道の地の利を生かす活動のお手伝いをするとともに、将来の担い手の技術教育もあわせて行います。農業を始め一次産業は、従事者の方々の経験工学とも云えますが、事業として規模と品質で発展するためには、科学・技術とのコラボレーションが必要です。
- 地方公共団体や企業の技術者で、業務の遂行について技術的問題で悩んでいる方は多いと思います。私たちにご相談下さい。すぐ飛んでいきます。

「 技術士リングネットの売りはなに 」

- 「技術士リングネット」は、個人技術士や中小法人事務所の集まりです。身近な業務課題に対して効率的な業務執行で専門技術を提供します。
- 参加している技術士は、道内の主要なコンサルテント会社や製造業・建設業等で多くの実務経験を積んでいます。
- 「技術士リングネット」は、地域課題に対して技術士としての専門知識と経営マネージメント面を含めた総合的なコンサルテングを致します。
- 「技術士リングネット」は、単に技術士のネットワークだけでなく、大学や弁護士などの仕業との連携をしています。特に、大学や経済界の学識者の方を中心に「有識者会議」や「顧問会議」を組織しています。セミナーの提言者や講師として、またプロジェクト事業の個別案件のアドバイスなど、より高度な立場から提言が受けられます。

「受け手のメリットはなに」

- 「技術士リングネット」は、公益法人として品質やモラルで高い専門技術の支援が可能です。
- 顧問型でまちづくり等のアドバイスを受けることができます。
- 多様化する技術要請に対応し中小コンサルテング会社や建設会社の技術をサポートします。
- 顧問契約を通して豊富な技術や業務の経験を生かしたアドバイスを受けることが可能です。
- 複数分野の登録技術士を組合せすることで、必要な技術問題を総合的に解決することが可能です。
- 地方公共団体や法人企業の技術研修、個人の技術士等の国家資格の取得支援など、所属技術士が質の高い個別指導を提供します。
- 「技術士リングネット茶話会」は、2ヶ月1度、会員技術士を主提言者とし、有識者のアドバイザーも交えて、少人数のセミナーを開催します。その他、随時講習会や研修会、資格取得セミナーなどを開催していきます。
- 将来の技術立国日本を担う人材育成のため、科学・技術の啓蒙・教育活動を行います。

「技術士リングネットの社会的役割はなに」

- 高度な応用・専門技術をもって、社会に生かすことです。
- 公共的には、第三者として中立的評価を社会に還元することです。
- 中小企業などの第一次および第二次産業に向けた高度化技術支援を行うことです。
- 市民や技術者に対し、経験に裏付けられる技術相談や技術教育の向上などを担うことです。

「技術士リングネットの狙いと真価はなに」

- 「技術士リングネット」は、技術士が行う活動を組織的に支援するとともに、責任ある窓口として自ら事業を推進することにより、社会に貢献することを目的としています。
- 活動の狙いを発揮するできることにより、社会からの技術士の真価を得ることになります。

「道民や市民との関りはなに」

- 道民や市民の方々の日ごろのくらしから、種々の課題や相談が発生します。当法人は、リングネット茶話会や相談会などを通じて市民との接点を築きあげてまいります。
- 研修会や相談会などは、法律や経済や文化など、他の専門家集団、さらに有識者会議メンバーを組織し、道民や市民の方々のお役に立ちます。
- 我々は、子供らの理科教育、技術の伝承、産業・観光、防災・減災、さらに技術者倫理などについて教育や書籍出版を通して皆様にその知識と情報を提供いたします。

「社会から見る技術士リングネットの事業ニーズはなに」

- 公共支援は、市町村の官庁技術者不足や財源不足に対して、技術所見、設計審査や工事検査などに監視、第三者的中立的な技術者を求めています。
- 産業事業分野では、中小企業を中心に高度技術化への総合技術支援が求められています。
- 社会は、技術向上のための技術者教育や公正、かつプロフェッショナルな技術的知見を求めています。

「技術士の活用の場は」

- 社会が技術士の持つ専門知識を有効に活用できる場
- 技術士が能力を存分に発揮して社会に貢献できる場
- 技術士やこれを目指す人が相互に切磋琢磨できる場

「マッチングサイトーエンジニアリングってなに」

- ホームページを通して、皆様との技術交流・支援の窓口です。
- エンジニアリングパークは、仕事を依頼する人と仕事をする技術士の登録が必要です。
- 個々に登録する個人や法人は、年会費が必要です。
- 技術士リングネットの社員および聴力会員は、年会費は不要です。

「技術士リングネットに入会するにはどうのようにしたらいいですか」

- ホームページ(http://www.pe-ringnet.or.jp/) から入会をクリックして入ってください。
- お知り合いの方や事務局に連絡(011(699)6439)をください。
- 会員には、個人・法人および協力会員があります。

「技術士リングネットに入会するには、参加費用はどうなっていますか」

- 個人社員・法人社員になるためには、入会金(10,000 円以上)、基金(50,000 円以上)が必要です。基金は、退会時には、返還いたしますが、入会金は経営基盤の運用のために返還いたしません。
- 協力会員は、企業におられる方で参加希望の方を対象にしています。非社員として総会議決権を有しません。協力基金は、30,000 円以上です。退会時は返還いたします。また、個人会員に移行時は、協力基金は、個人社員の基金に補完されます。入会金はありません。